



私のいちおし本 「子育てを変えれば脳が変わる」

成田 奈緒子 著



今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

昭和女たちの食隨筆

木村 衣有子 編

昭和が終わって30数年。食の選択肢はかつてとは比較にならない。昭和ゆえの、食材調達、および調理においての工夫とフロンティア精神を感じさせる、女性作家・料理研究家たちの文章を集めます。そこには、食べることとつくることにつまづく普遍的な喜怒哀楽が描かれています。



【児童】

つめのくに

シゲリカツヒコ 作・絵

つめかみグセを止めようと、つめに顔の絵を描いたリコ。気配を感じ振り向くと、そこには親指に描いたおじさんの姿が! 「つめのくに」に連れて行かれたリコは、いろんな人のつめになってみることで、つめの大切さに気づき…



その他の新刊

【一般】ブラックスワン

相場 英雄 著

まろ丸伊勢参り

畠中 恵 著

【児童】ギリギリオニギリーズ

玉田 美知子 作 / キッチンミノル撮影

きみとぎゅつ

いぬい さえこ さく・え

選者：高山こども園 畠中 親徳

子育て支援を担う中、昨今、多くの「発達症もどき子」や「愛着形成」、「コミュニケーション力」、「レジリエンス」に課題を抱え、困っている子どもたちに出会う。スピードで物が豊か、便利にしすぎた社会が作り上げた子どもたちではないかと疑う。

そんな中、脳科学の視点から捉えた「子どもの健康な発達」について考える本を見つけた。子育て支援から子育ち・親育ち支援への指針になる本ではないかと思う。

子育てに奮闘している方、悶々としている方、子育て支援を仕事にしている関係者等、子育てに係る方々に手に取ってもらいたい。

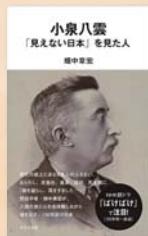
【文化センター図書室】

【一般】

小泉八雲「見えない日本」を見た人

畠中 章宏 著

日本で民俗学が始まる以前に、民俗学的視線で日本人の暮らし・心を見ることができた小泉八雲。数々の著作を手がかりに、約130年前の日本の民俗を見つめ直し、八雲の観察眼、考察力、その思想を掘り下げる。



【児童】

クリスマスのぼうけん

マリー・ヴォイト 作・絵 / 俵 万智 訳

ある冬の夜、くまのコスモが寂しくしていると、友だちのベティがコスモの家へやってきました。ふたりは、てっぺんに世界で一番明るい星が輝いているという、光のクリスマスツリーを探しに行きます。心きらめくクリスマス絵本。



その他の新刊

【一般】文字の読めないパイロット

高梨 智樹 著

【児童】星座の見つけ方と神話がわかる星空図鑑

永田 美絵 著 / 牛山 俊男 写真

◎チューリップの会 冬のおはなし会◎

・期日 令和7年12月6日(土)

・時間 10:00 ~ 11:00

・場所 肝付町文化センター 1階和室

☆絵本や紙芝居、大型作品の読み聞かせを行います。お気軽にお越しください。

